allcinema

セカンドベスト／父を探す旅（1994）

SECOND BEST

メディア 映画
ジャンル
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 105分
初公開日 1995/01/21
公開情報 ＷＢ

【解説】

邦題の副題は少し一方的だ。この映画では、養父になろうとするイギリスの田舎の郵便局長の“子探し”の旅（もちろん、これは精神の上での）もじっくり描かれ、と同時に実父がありながら彼の子になろうとする少年の複雑な想いが照応して語られる。撮影監督として一流（「ミッション」のではなく、あくまであのケン・ローチ作品を支えた透明で自在なカメラアイの持ち主と考えたい。実際、この作品の誠実で鋭い感触はローチの映画と重なってみえる）のメンゲスの映像に対する審美眼（今回カメラはＡ・ロウ）はここでも素晴らしく、久しく見なかった清冽なタッチで、はかなげに、疑似親子のもろい絆が強く結わえ直される過程を捉えている。ジェームズ（Ｃ・Ｃ・マイルズ）は孤児院で暮らす、刑務所にいる父と過ごした僅かな思い出にしがみつく少年。グラハム（役になりきり方がすごいＷ・ハート）は４０をすぎたその歳まで独身で過ごした、あまりに仲睦まじかった両親に受け入れられることなく少年から青年期を送った孤独な男だった。母は亡くなり、今や痴呆症で寝たきりの父を世話しながら淋しく暮らすうち、養子縁組みの広告を見て激しく急き立てられ、申し込みをし、やがてジェームズを紹介され、つまずきながらも他人同士の家庭を築いていこうとする。互いの心の痛みを分かち合い、やっと打ち解けた所に、なんの前触れもなく病に死にかけた少年の実父が現われる。エイズだった。二人は彼を最後まで看取ることで、本当の情愛を静かに育んでゆく……。さりげなさの中に、人間のつらい部分、不可知なものも探ろうとするＤ・クックの脚本が秀逸。少年の原イメージにある森を二人がキャンプするシークェンスなど、自然描写が極めて美しい。

【クレジット】

監督	クリス・メンゲス	Chris Menges
製作	サラ・ラドクリフ	Sarah Radclyffe
原作	デヴィッド・クック	
脚本	デヴィッド・クック	
撮影	アシュレイ・ロウ	Ashley Rowe
音楽	サイモン・ボスウェル	Simon Boswell
出演	ウィリアム・ハート	William Hurt
	クリス・クリアリー・マイルズ	
	ジョン・ハート	John Hurt
	キース・アレン	Keith Allen
	アラン・カミング	Alan Cumming
	ジェーン・ホロックス	Jane Horrocks
	ジョディ・メイ	Jodhi May
	プルネラ・スケイルズ	Prunella Scales
	ショーン・ディングウォール	Shaun Dingwall

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.